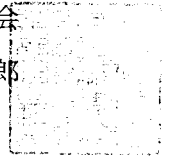


日国教日発第 35 号
平成 20 年 11 月 5 日

廣森 友人 様

財団法人日本国際教育支援協会
事業部次長 近藤 二郎



平成 20 年度日本語教育能力検定試験に係る貴編著作物の使用について

時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

財団法人日本国際教育支援協会では、日本語教師を目指す方等を対象に、昭和 62 年度から日本語教育能力検定試験を実施しております。

本年度は 5,773 名が出願し、去る平成 20 年 10 月 19 日に試験を実施いたしました。

このたび、本試験の実施にあたり、試験問題に貴殿の下記編著作物の一部を下記のとおり使用させていただきましたことを御報告申し上げますとともに、謹んで御礼申し上げます。

試験問題への引用であるため、著作権法第 36 条に従い、報告が事後になりましたことを、悪しからずご了承くださいますようお願い申し上げます。

なお、参考として、貴殿の編著作物の引用が掲載された該当試験問題の写し及び平成 20 年度日本語教育能力検定試験実施要項を同封申し上げます。

記

- ・ 著作物名 : 『英語教師のための「学習ストラテジー」ハンドブック 第 1 章
学習ストラテジーについて知っておきたいこと』
- ・ 発行所 : (株)大修館書店
- ・ 使用箇所 : 平成 20 年度日本語教育能力検定試験「試験Ⅲ」問題 10

試験Ⅲ 問題冊子

120分

【注意事項】

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は42ページまであります。
- 3 試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 4 監督者の指示に従って、解答用紙（マークシートと記述解答用紙）の所定の欄に、氏名および受験番号を正しく記入してください。受験番号は、数字欄に数字を記入し、その下のマーク欄にも必ずマークしてください。正しくマークされていないと、採点できないことがあります。
- 5 問題1～15の解答はマークシートの解答欄にマークしてください。
例えば、問題1の問1に「3」と解答する場合、次の（例）のように問題1の問1の解答欄の③をマークしてください。

(例)

問題番号		解 答 欄			
問題 1	問 1	①	②	●	④
	問 2	①	②	③	④

問題16の解答は記述解答用紙に記入してください。

問題冊子に記入しても採点されません。

- 6 解答用紙の「注意事項」もよく読んでください。
- 7 この試験Ⅲの問題冊子は、必ず持ち帰ってください。ただし、この冊子の複写・複製、引用等は固く禁じます。

問題10 次の文章は、「導入」「展開」「整理」という学習活動の流れと学習ストラテジーとの関連を説明したものである。この文章を読み、下の問い（問1～4）に答えよ。

ある学習活動に取り組む際、学習者はまず、この活動の目標は何か、あるいはそれを達成するためにはどういった行動（＝学習ストラテジー）を取ればよいのかを考えます。言い換えれば、学習活動の「プランニング」を行うこととなります。この活動^Aは、その後の取り組みの出来不出来にも大いに影響を与えるため、非常に重要だと考えられているものです。

次に、展開段階を見てみます。この段階では、学習者は実際に、言語活動の遂行に直接的に関わってくるストラテジーをいくつか利用することになります。それらの中には、辞書を利用したり、単語や語句などをグループ化したりといった認知ストラテジー^Bや、周りに質問したり、友だちと協力したりといった社会・情意ストラテジー^Cが含まれることとなります。ただし、この段階でより重要なことは、現在の学習状況を的確に把握し、適宜、学習活動を「モニタリング」することです。なぜなら、例えば、導入段階で不適切な目標が設定されていたとしたら、できるだけ早く活動方針の修正などを行い、問題を解決する必要があるからです。

最後の整理段階では、学習活動の振り返り^Dや「評価」を行うこととなります。学習のやりっぱなしでは、十分な成果を上げることは難しいと言えます。期待した成果が得られなかった場合は、次の目標を考える上でも、ここで課題をしっかりと確認・整理しておく必要があります。

（廣森友人「第1章 学習ストラテジーについて知っておきたいこと」大学英語教育学会（JACET）学習ストラテジー研究会編著『英語教師のための「学習ストラテジー」ハンドブック』大修館書店による）

問1 文章中の下線部A「この活動」を行うときに主に用いられるストラテジーを何と呼ぶか。最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 全体的ストラテジー | 2 メタ認知ストラテジー |
| 3 トップダウン・ストラテジー | 4 コミュニケーション・ストラテジー |

問2 文章中の下線部B「認知ストラテジー」の例として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 重要な情報に下線を引いて注意を向ける。
- 2 難しい話題は避けて簡単な話題に切り替える。
- 3 伝えたい表現が分からないときには身振りを使う。
- 4 言語活動が適切にできているかを自らに問いかける。

問3 文章中の下線部C「社会・情意ストラテジー」の例として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 単語を何回も繰り返し言ったり書いたりする。
- 2 自分には能力があると自分自身に言い聞かせる。
- 3 成功した学習経験に基づいて学習計画を立てる。
- 4 タスクの難易度や自分の能力を考えて優先順位を付ける。

問4 文章中の下線部D「振り返り」や「評価」の活動例として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 学習者が自分の立てた目標の適切性を評価し、その結果を教師に報告しフィードバックを求める。
- 2 学習者が自分の周りの学習環境を評価し、不適切な部分があればそれを教師に報告し改善を求める。
- 3 学習者が自分のストラテジーの習熟度を評価し、それに基づいて次に習得するストラテジーを決定する。
- 4 学習者が自分の目標活動の達成度を評価し、それに基づいて次に行う活動やそこで使うストラテジーを設定する。